
自治医科大学

地域医療後期研修プログラム

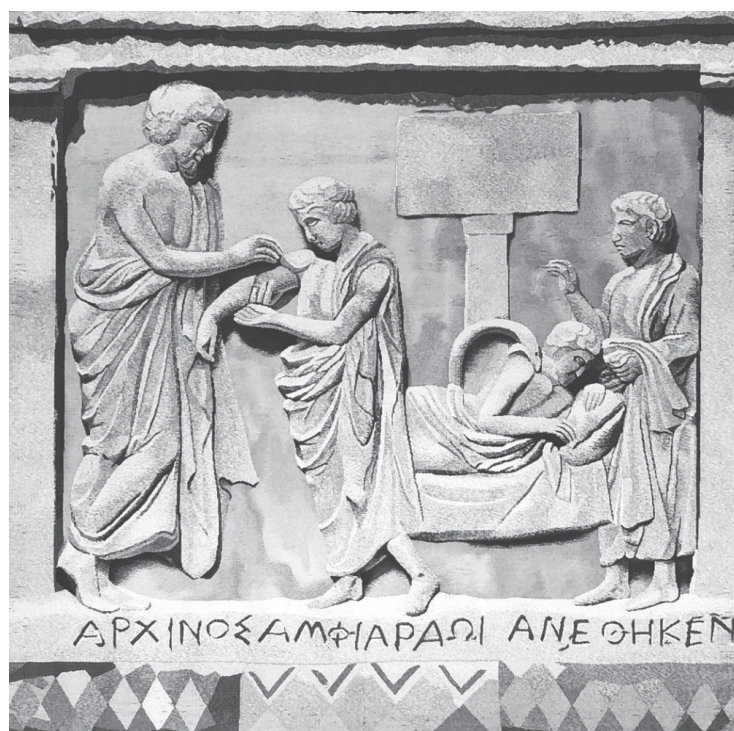
- **総合診療専門研修コース**
(総合診療専門医取得)
- **家庭医療専門研修コース**
(家庭医療専門医取得)
- **生涯研修コース**
(キャリアアップのために)
- **地域医療指導者養成コース**
(地域医療の指導者になるために)

地域医療を知り尽くした自治医大だからこそ
できる研修プログラムです

自治医科大学地域医療後期研修プログラムは、「総合医」と「専門医」の両立、そして地域医療のリーダーたる人材の育成を目指します。様々なニーズに応じた研修ができるよう、4つのコースを設けています。

①総合診療専門医（日本専門医機構認定）の取得に向けた「総合診療専門研修コース」②家庭医療専門医（日本プライマリ・ケア連合学会認定）の取得に向けた「家庭医療専門研修コース」が2つの柱です。さらに、③「生涯研修コース」では、大学ならではの診療や特殊技能の習得、臨床研究、臨床教育を修めるなど、ご自身の経験やキャリア事情に応じたテーラーメイド研修が可能です。④「地域医療指導者養成コース」は、地域医療の実践、教育、社会医学の研鑽、研究活動を包括的に研修する、地域医療の指導者を養成する自治医大独自の研修コースです。

多くの皆さんにプログラムを活用していただきたいと思います。詳細は、自治医科大学地域医療後期研修プログラムホームページ (<https://www.jichi.ac.jp/chiikik/>) も合わせてご覧ください。お問い合わせ、ご応募をお待ちしています。



1. 総合診療専門研修コース

日本専門医機構認定「総合診療専門医」の取得を目指します。本プログラムは、日本専門医機構による承認を受けています。2021年度に3人、2022年度に1人、2023年度に1人の専攻医が新たに加わりました。義務年限、地域枠、ライフイベントなどの理由がある場合、カリキュラム制による研修も考慮できます。また、「内科専門医」「救急専門医」と「総合診療専門医」のダブルボードが日本専門医機構により承認されました。それにより専門研修の相互乗り入れが認められ、二つ目の資格取得の研修期間が短縮されます。

〈総合診療専門研修プログラム〉

■取得可能な専門医

日本専門医機構認定 総合診療専門医

■到達目標

以下7つの資質・能力を獲得することを目指します。

1. 包括的統合アプローチ、2. 一般的な健康問題に対する診療能力、3. 患者中心の医療・ケア、4. 連携重視のマネジメント、5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、6. 公益に資する職業規範、7. 多様な診療の場に対応する能力

■対象者

臨床研修を修了している方。

■研修内容

研修1年目は自治医科大学附属病院総合診療内科での総合診療専門研修Ⅱと内科領域別必修研修を行います。

研修2年目は連携施設において総合診療専門研修Ⅰ、救急科領域別必修研修、小児科領域別必修研修を行います。

研修3年目は連携施設において内科領域別必修研修と総合診療専門研修Ⅱを行います。

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ (6) カ月以上						総合診療専門研修Ⅱ (6) カ月以上					
	合計で18カ月以上											
領域別 研 修	内科 (12) カ月※						救急科 (3) カ月			小児科 (3) カ月		

※2025年度以降に研修を開始する専攻医は6ヶ月～12ヶ月

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療Ⅱ						内科			内科		
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療Ⅰ						救急			小児科		
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						総合診療Ⅱ					

■総合診療専門医と内科専門医のダブルボードが可能に

内科と総合診療は、両領域間で一定の研修内容や方式を共にすることから、最初に日本専門医機構認定総合診療専門研修プログラムを修了後、研修期間を短縮して日本専門医機構認定の内科専門医を取得する（または最初に内科専門医を取得後に、期間を短縮して総合診療専門医を取得する）ことが可能になりました。内科、総合診療いずれの領域を取得した専門医も後に取得するダブルボード研修の際はカリキュラム制となります。ダブルボードの取得を目指す方のサポートも強力に行います。

内科専門研修プログラム修了者 研修例（カリキュラム制）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹施設・連携施設（総合診療Ⅱ研修）						救急科			小児科		
2年目	連携施設（総合診療Ⅰ研修）											

■研修先（一部抜粋）

総合診療専門研修Ⅰ		総合診療専門研修Ⅱ		領域別研修	
岩手県	一関市国民健康保険藤沢病院	岩手県	一関市国民健康保険藤沢病院	茨城県	石岡第一病院(内、小)
秋田県	大館市立扇田病院	宮城県	涌谷町国民健康保険病院	栃木県	那須赤十字病院(内、小、救)
茨城県	石岡第一病院	茨城県	石岡第一病院	栃木県	那須南病院(内)
茨城県	村立東海病院	栃木県	日光市民病院	栃木県	自治医科大学附属病院(内、救)
栃木県	湯西川診療所	栃木県	那須赤十字病院	新潟県	県立十日町病院(内)
栃木県	日光市民病院	栃木県	那須南病院	富山県	かみいち総合病院(内、小)
千葉県	鴨川市立国保病院	栃木県	自治医科大学附属病院	徳島県	つるぎ町立半田病院(内、小)
富山県	かみいち総合病院	群馬県	西吾妻福祉病院	熊本県	球磨郡公立多良木病院(小)
岡山県	新見市哲西町診療所	千葉県	鴨川市立国保病院		
香川県	綾川町国民健康保険陶病院	新潟県	県立十日町病院		
愛媛県	西予市立野村診療所	富山県	かみいち総合病院		
熊本県	球磨郡公立多良木病院	徳島県	つるぎ町立半田病院		
大分県	佐賀関病院	大分県	佐賀関病院		

■研修評価

- (1) 振り返り：研修手帳の記録および定期的な指導医との振り返りセッションを1-数か月おきに定期的
に実施します。
- (2) 経験省察研修録作成（ポートフォリオ）：経験と省察の記録（7つの資質・能力）作成に対する支援
を通じた指導を行います。
- (3) 研修目標と自己評価：研修目標の達成段階を確認し適切な指導を提供します。年次の最後には総括
的な確認を行い、現状と課題におけるコメントを記録します。

■当プログラムの特色

- (1) 自治医大卒業生派遣先など、教育的な多数の医療機関と連携しています。
- (2) 大学病院、市中病院、診療所など幅広いフィールドで研修を行うことができます。
- (3) 個別の進路目標、研修のステージおよびイベントに合わせて、プログラムを提供します。

2. 家庭医療専門研修コース

本コースは、2020年開始の新・家庭医療専門研修プログラムの承認も受け、専門医機構の総合診療専門医を基盤として、国際水準の質の高い総合診療医／家庭医を養成します。

〈家庭医療専門研修プログラム〉

■到達目標

- プライマリ・ケア診療、組織管理、地域に根ざした学術活動の基盤を身に付け、地域プライマリ・ケアのリーダーシップを発揮できる人材を養成します。
- 新家庭医療プログラムは2020年に世界家庭医機構の提唱する国際的なプログラム認証を受けており、世界標準の質保証を目指します。
- 総合診療専門研修で修得すべき7つの資質・能力を実践できる資質を獲得し、さらに「多疾患併存 (multimorbidity)のケア」「複雑・困難事例への対応」など家庭医療専門医に必要な項目を履修します。

■研修方略

新・家庭医療専門医は日本プライマリ・ケア連合学会が運営する、総合診療専門医を基本領域としたサブスペシャルティ領域です。総合診療専門医としての研修期間も、研修開始登録後に限りませんが、施設、指導医、経験症例などの条件が学会基準を満たしていれば、家庭医療専門研修ⅠまたはⅡとしてカウントできます。育児などライフイベントを考慮したプログラムを提供しており、パートタイム研修での専門医取得も可能としています。

■研修期間

- (1) 総合診療専門医を取得することを前提に、24ヵ月以上の家庭医療専門研修を行います。

連動プログラム

総合診療専門研修と同時または1年後に登録
(最短4年で取得)

単独プログラム

総合診療専門研修 (3年間) 修了後に登録

家庭医療専門研修Ⅰ (診療所・小病院中心) 12ヶ月以上、家庭医療専門研修Ⅱ 6ヶ月以上 合計
24ヶ月以上 (新家庭医療専門研修プログラム細則参照)

- (2) 2017年以前に臨床研修を修了した者は、日本専門医機構認定総合診療専門医を取得しなくても新制度の家庭医療専門研修を修了すれば家庭医療専門医の認定審査を受けることができます。*

*一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医認定制度要綱 (2023.11現在)

■研修環境

- (1) 症例経験：領域別の経験すべき疾患、病態、ヘルスプロモーション、地域活動やマネジメント等。
研修施設の条件として、施設単位の症例数、経験できる症例数を定めた。
- (2) 学習環境：
 - 指導医との実施すべき研修内容と指導体制の確保、日々の指導と振り返り
 - レジデント・デイ (1回/月)：コアレクチャー (コモンディーズ、家庭医療領域別)

ポートフォリオ作成支援、活動報告

- 栃木県内他プログラムと合同：とちぎポートフォリオ発表会（3回/年）、栃木・群馬ポートフォリオ合宿（1回/年）
- 研修報告会・指導医講習会（学内2回/年）、教育カンファレンス
- Off The Job Training（学会指定のセミナー・研修会・e-learningを受講）

学内研修報告会・指導医講習会およびとちぎポートフォリオ発表会でも取得可能

- (3) 指導医の質の確保：指導医養成講習会（2回/年）、評価者会議（1回/年）、プログラム責任者会議

■研修評価

- (1) 形成的評価：専攻医の成長を促すための評価とフィードバック

- 研修内容評価のための研修手帳の確認（1回以上/月）：研修すべき症例・病態・手技の確認、ポートフォリオ指導・到達度の自己評価・指導医との振り返りの記録
- 臨床能力評価（Mini-CEXをもちいて）、自己評価（SEAをもちいて）
- 年次報告作成（1年の進捗状況の確認と評価）

- (2) 総括的評価：ポートフォリオ：経験と省察の記録（16領域）

（総合診療専門研修で作成したポートフォリオは新・家庭医療専門研修と重複領域で共用可能）

■研修先

- (1) 基幹病院：自治医科大学附属病院
(2) 家庭医療専門研修医療機関

家庭医療専門研修 I	
岩手県	一関市国民健康保険藤沢病院
秋田県	市立大森病院
茨城県	石岡第一病院
栃木県	飛駒診療所
栃木県	栗山診療所
栃木県	湯西川診療所
栃木県	日光市民病院
新潟県	湯沢町保健医療センター
富山県	かみいち総合病院
岐阜県	県北西部地域医療センター国保白鳥病院
岡山県	新見市哲西町診療所
香川県	綾川町国民健康保険陶病院
愛媛県	西予市立野村診療所

家庭医療専門研修 II	
岩手県	一関市国民健康保険藤沢病院
茨城県	石岡第一病院
茨城県	常陸大宮済生会病院
栃木県	日光市民病院
栃木県	芳賀赤十字病院
栃木県	那須南病院
栃木県	自治医科大学附属病院
群馬県	西吾妻福祉病院
富山県	かみいち総合病院
徳島県	つるぎ町立半田病院
香川県	綾川町国民健康保険陶病院

■当プログラムの特色

- (1) 自治医大卒業生派遣先の先進的な地域医療の取り組みの実績のある医療機関と連携しています。
(2) 大学病院の利点を生かして、さまざまな学習の機会を提供します。学術活動を支援します。
(3) 個別の進路目標、研修のステージおよびイベントに合わせて、プログラムを提供します。

総合診療専門研修・家庭医療専門研修 施設一覧

2025年1月現在

都道府県	施設名	総合診療専門研修						新・家庭医療専門研修			へき地等
		I	II	内科	小児科	救急	その他	I	II	領域別研修 その他	
岩手県	一関市国保藤沢病院	○	○					○	○		過
	県立釜石病院				○						過
宮城県	涌谷町国民健康保険病院		○								
秋田県	市立大森病院	○						○			過
	大館市立扇田病院	○									過
茨城県	いばらき診療所ひたち						訪問診療				
	総和中央病院	○									
	石岡第一病院	○	○	○	○		整外	○	○	内、小、整外	医・乏
	生きいき診療所・ゆうき	○									
	常陸大宮済生会病院		○						○	内	
	村立東海病院	○					整外				
	八千代診療所	○									
栃木県	生協ふたば診療所	○									
	飛駒診療所	○						○			へ(都)
	栗山診療所	○						○			過
	湯西川診療所	○						○			過
	日光市民病院	○					整外	○	○		へ(都) 医・乏
	芳賀赤十字病院		○	○	○	○			○		へ(都) 医・乏
	那須赤十字病院		○	○	○	○					医・乏
	那須南病院		○	○					○	内	へ(都) 医・乏
	自治医科大学附属病院		○	○		○	消外、外、放、 臨検		○	内	
	鹿野クリニック	○									
群馬県	西吾妻福祉病院		○						○		
千葉県	鴨川市国保病院	○	○								
	県立十日町病院		○	○							へ
新潟県	上越地域医療センター病院	○	○								
	湯沢町保健医療センター	○						○			
富山県	かみいち総合病院	○	○	○	○		精神、整外、産婦、 眼、耳鼻、血管外	○	○	内、小、外、整外、 精神/心療、産婦、 耳鼻、県立中央(救急)	
岐阜県	県北西部地域医療センター国保白鳥病院							○			
岡山県	新見市哲西町診療所	○						○			過
徳島県	つるぎ町立半田病院		○	○	○		外、産婦、泌		○	小	過
香川県	綾川町国保陶病院	○						○	○		
愛媛県	西予市立野村診療所	○						○			過
熊本県	球磨郡公立多良木病院	○			○		外、整外、眼、 介護福祉、保健分野				過
大分県	佐賀関病院	○	○								過

過：総務省の指定する過疎地域、へ：厚労省の指定するへき地、へ(都)：都道府県の指定するへき地、医・乏：医療資源の乏しい地域
最新の指定状況は、適宜お問合せください。

3. 生涯研修コース

臨床研修修了後（卒後3年目以降）の医師を対象とし、十分に研修できなかったことや、キャリアアップのためにしたいことを、短期間で効率的に実践・習得するためのテーラーメイド研修です。自分のしたいことを核にオリジナルの研修プログラムを作成します。6か月以上の期間で自由に選択でき、生涯研修として利用するのに最適なコースです。プログラムそのものは外部団体（専門医機構、各学会など）の認証を受けるものではありません。

ワークライフバランスに応じた研修や、大学ならではの診療、臨床研究、医学教育を包括的に修めることも可能です。また、自治医大卒業医師の後期研修として、大学病院（または周辺地域）における医療や技術の研修にあてることもできます。雇用形態は、地域医療学センター（総合診療部門・地域医療学部門・地域医療人材育成部門）や附属病院総合診療内科などでの雇用、または都道府県や出身病院の身分の継続など、状況に応じて検討が可能です。詳細は、事務局 (chiikikenshuu@jichi.ac.jp) にお問い合わせください。

活用例

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	自治医大病院 総合診療内科						救急部			芳賀赤十字病院 小児科		
1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	自治医大病院 総合診療内科・医学教育・臨床研究（後期研修として）											
1～2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療学研究・医学教育・自治医大病院 総合診療内科											
1～2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	自治医大病院 総合診療内科・医学教育・臨床実習担当											
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	自治医大病院 総合診療内科・臨床研究・学位論文作成											



自治医科大学附属病院 正面

4. 地域医療指導者養成コース

地域医療・家庭医療・総合診療などの実践経験を踏まえ、さらに優れた能力を身につけるとともに、この分野の人材育成に取り組むための教育・指導・評価や、企画・調整能力の涵養を図り、将来、医療機関や地域の中核的医療機関での指導教育に当たる指導者を養成する2年間のプログラムです。

研修内容には、診療のほか、医学生や研修医に対する医学教育の実践、研究活動の実践が含まれます。プログラム参加者の事情によって、ローテート研修（含む技術研修）や院外地域医療活動などもオプションで計画することができます。

プログラム参加者は、外部評価者を交えた評価委員会において定期的に評価を受けます。研修中の身分について、都道府県庁・市町村などの身分を持ったままの派遣や、出向など、多様な形態での受入について相談に応じます。自治医大卒業医師などで身分に制約のある医師の実績もあります。雇用形態は、地域医療学センター（総合診療部門・地域医療学部門・地域医療人材育成部門）や附属病院総合診療内科などでの雇用、または都道府県や出身病院の身分の継続など、状況に応じて検討が可能です。2010年度から、自治医大に勤務する場合は、6ヶ月以上附属病院総合診療内科の診療にあたっていただくことになりました。当コースに所属する2年間は、研究生としての学費は免除します。詳細は、事務局 (chiikikenshuu@jichi.ac.jp) にお問い合わせください。

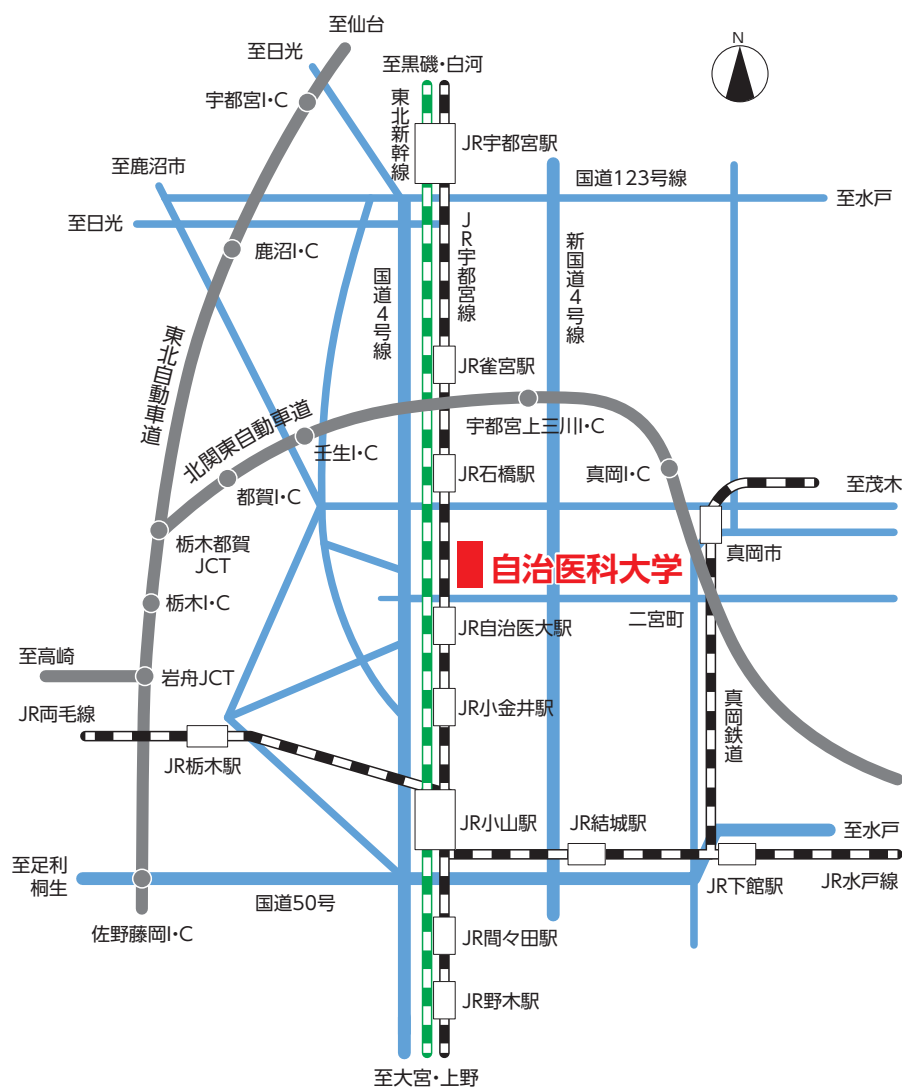


教育研究棟



自治医科大学本館北口

自治医科大学へのアクセス



作成・連絡先

自治医科大学 地域医療学センター 地域医療人材育成部門

329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311 - 1

電話：(0285) 58-7498 FAX (0285) 40-5160

URL： <https://www.jichi.ac.jp/chiikik/>

E-mail： chiikikenshuu@jichi.ac.jp



第14版 2025年2月発行